

第134号



発行：西郷村企画開発課

印刷所：ワタベ印刷所

西郷村の人口及世帯数

(54. 8. 1 現在)

世帯数 2,904(+10)

人 口 12,444(+31)

男 6,229(+19)

女 6,215(+12)

昭和54年 9 月10日発行



史跡 名勝めぐり その⑦

鶴生地蔵桜供養塔群

美しい伝説の村、鶴生を訪れると、行くも帰るもやさしい仏さまに迎えられる。

部落の北側に大きなしだれ桜がある。幾百年もこの部落の盛衰をながめてきたであろう。この桜の下に、やさしい顔をした石仏がいくつか、ひそやかに、しかも切実な近世のほほえみをたたえている。

また、ここ鶴生には白河郡七仏薬師のひとつに数えられる鶴生穴薬師や磨崖碑などが残っている。



すっかり定着した

ふだん着の成人式

—199名が大人の仲間入り—

今年は、昭和三十三年に生まれた男子八十一万人、女子七十七万人が、全国で晴れやかに成人式を迎えました。昭和二十三年にスタートしたこの「国民の祝日」も、今年で三十一回目。社会人への「門出」を祝う「成人式」は、おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝ひ励ます行事として定着してきています。

西郷村でも、八月十五日、熊倉小体育館で実施しましたが、今年は、昭和四十九年から「夏の成人式」に踏み切ってから、



祝辞を述べる西郷村長



成人証書を受ける代表者

六回目に当ります。年々ジーンズ姿などの「ラフ」な服装で出席する若者も見られ、夏の成人式の主旨がいかされつつあると喜んでいきます。

北極点到達とグリーンランド縦断をなした冒険家の植村直己さんは次のように言っておられます。

『二十歳前後というのは、いわば「自分に出会う時」なのだと思っています。自分は何をしたいのか——この「未知」の部分に照明をあて、探り出し、それにかける——それは新しい自己発見

への「旅立ち」であると同時に、未知なる自分との闘いの開始でもあるのです。と……また、こうも言っておられます。『みなさんのような若い時にこそ、自分の全力を傾けて挑戦できる何かを見いだし、それにかける。やりとげるためには何を進め、何をがまんしなければならぬか——自分との闘いは、こうして始まるのです。みなさんにはそれができる。まぶしいばかりの若いエネルギーが満ちあふれているのですから』と……。

なお、今年の成人者は男女あわせて一九九名です。

村内の各小学校には川谷小を除き、全てプールの施設が完備されていますが、このほど川谷小にもプールが完成し、プール開きが行われました。

これまで川谷小ではプールがないため、甲子や村民プールまで出かける必要がありました。非常に不便を感じてきました。このため村でも、地元の強い要望もあり、一日も早く子供たちに

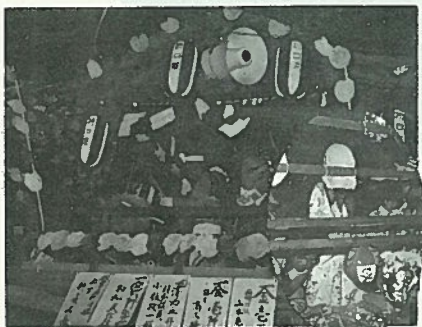
川谷小学校に

プール完成!

盛況だった 各地区の盆踊り

四十九年から村主催により、盆踊り大会を実施してきましたが、今年は各地区の盆踊りに村が補助をする形で行われました。

村内八ヶ所を実施され、各会場とも、子供からお年寄り、ふるさとに帰省した人々であふれんばかりで、夜のふけるのをわすれて歌に、踊りに興じていました。



プールに子供達は大はしゃぎ

プールで泳いでもらおうと工事を急いでいました。

完成したプールは総工費二千七十七万円、村内では初めてのアルミプール二十五×八畝の五コース。更衣室、機械室、便所、洗眼装置などの設備を備えた立派なプールです。



全国制覇

西一中
テニス部

―村内を優勝祝賀パレード―

西一中テニス部は、毎年、輝かしい成績を残しています。今年も金沢、辺見先生らの指導のもと、さる八月十六日、東京世田谷区営テニスコートで行われた全日本中学生軟式庭球選手権大会女子ダブルスではみごと全国制覇をなしました。

八月二十一日には、これと東北大優勝などを兼ねて村内祝賀パレードが行われました。これに先立ち、役場庁舎で村長に優勝を報告、村長から「本当におめでとう、立派な成績を収めたことは村の誇りです」と祝福の言葉がかけられました。このあと、選手たちは栄えある優勝旗、トロフィー、胸にはメダルをかけ、二台のジープに分乗して、村民に優勝の報告を行いました。沿道では、選手たちに惜しみない拍手を送っていました。

県大会以後の成績は次のとおりです。

◎県大会（七月二十六日、二十七日、二十八日〓郡山市）

【男子】

▼団体三位

鈴木誠司、鈴木俊晴、近藤恭猪、猪越浩一、大高兵美、和知正道、鈴木守、相馬憲二

【女子】

▼団体優勝（四年連続優勝）

鈴木節子、鈴木聖子、大竹正子、池田美紀、真船和子、河西二美子、真船早和子、鈴木恵美子

※個人戦は雨のため中止、女子は東北大大会、全国大会へ団体個人とも出場権を得る。

◎東北大会（八月十日〓会津若松市営コート）

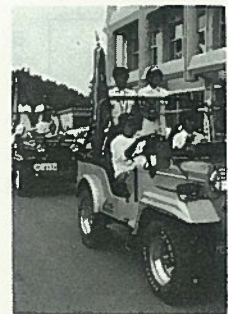
▼女子団体優勝（四年連続優勝）

鈴木節子、鈴木聖子、大竹正子、池田美紀、真船和子、河西二美子、真船早和子、大倉文子

▼女子個人優勝（四年連続優勝）

鈴木節子、池田美紀

◎第十回全日本中学生軟式庭球選手権大会（八月十六日〓東京世田谷区営コート）



▼女子優勝（昨年は第二位）

鈴木節子、池田美紀

◎第三回全日本ジュニア選抜軟式庭球選手権大会（八月十七、十八、十九、二十日〓千葉県白子）

▼男子団体四位

鈴木誠司、鈴木俊晴、近藤恭猪、猪越浩一、大高兵美、和知正道

▼団体三位

（Bチーム三部ブロック）

鈴木守、鈴木義美、佐藤和司、植木康生、相馬憲二、小針義美、中村正、高崎幸夫

▼シングル三位 和知正道

▼個人優勝（二年の部）

鈴木義美、小針義美

▼個人準優勝（二年の部）

佐藤和司、中村正

▼女子シングル優勝

鈴木節子

▼個人優勝（二年の部）

真船千枝子、近藤美佐子

▼個人準優勝（一年の部）

小椋よし子、高崎陽子

▼個人三位（二年の部）

真船早和子、鈴木恵美子

税務課長

芳賀太計男氏急逝



西郷村税務課長、芳賀太計男氏は入院加療中でした

が、にわかに病状が悪化し、ご家族、ご親戚のけんめいな看護も空しく、去る八月十三日、遂に逝去されました。もともと、地方自治のため、村民福祉のために、その卓越した能力を発揮していただき、ただただに、四十八歳の若さで急逝されたことは、惜んでも余りあることであります。

同氏は、昭和二十三年五月、西郷村役場に奉職、以来、国保係、収入役助手、厚生課長、税務課長と三十一一年の間、村政に尽くされてきました。特に昭和三十八年十一月には三十二歳の若さをもって厚生課長、三十六歳にして税務課長の要職につかれました。氏の旺盛な

なる研究心と創意工夫に富む態度、そのまにみる事務能力、事に当てる責任感と、どの一つをとってもまさに公務員の模範であり、本村役場の誇りでもあり、大いにこれからの活躍が期待されていたのであります。

なかでも、税務課長時代にあつて、高度成長による土地ブーム、その他の経済激動による税務事務は困難をきわめました。が、氏の豊かな経験とすぐれた手腕をもって、この難関を通り抜けてきました。

その結果本村の財政が、他町村からうらやまれるほど恵まれた状態で運営できたことは、氏の果された功績が誠に大きいものがあると思います。

氏の急逝は、村行政にとつても大きな痛手でありましたが、郷土の繁栄をかたときも忘れなかつた氏の冥福を祈りながら、今後私ども職員も村政発展のために、最大の努力を払う覚悟であります。

ここに謹んでお知らせします。

子供とお年寄りを守ろう

秋の全国交通安全運動

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。

今年に入ってから交通事故で亡くなった方は、六月末日で三千九百二十三人(全国)。昨年の同じ時期に比べて、二百十二人(五・一%)減っていますが、交通事故の発生件数および負傷者の数は、逆に増えているのが特徴です。

また、亡くなった方では、相変わらず子供とお年寄りが多く、原動機付き自転車の事故による死者も含めて、道路交通の上で、弱い立場にある人々の犠牲が目立っています。

こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ますと、「スピード違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この傾向はここ数年まったく変わっていません。このようなスピードの慣れや、ちよとした油断などドライバーとしての基本的な事柄をきちんと実践してこ

原動機付き自転車の死亡事故が増えています

全身で風を切って走る——この快適さはバイクならではのものです。

なかでも、50cc以下の原動機付き自転車の人気は高く、保有台数も全国で約七百万台とバイクの七割以上を占め、最近では女性ドライバーの増加が目立ちます。

ところが、こうした「バイク人気」とともに増えているのが交通事故です。

交通事故全体の死者数は、昭和四十五年をピークに減ってき

ていますが、原動機付き自転車による死者数だけは、毎年わずかずつながら増えつづけています。

原動機付き自転車は、女性も手軽に乗れる半面、四輪車と違って全身が常に外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。

原動機付き自転車を利用しているみなさん、運転には次のような点を十分注意しましょう。

原動機付き自転車の

安全な乗り方

その「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

このような背景から、今年には、

▼子供と老人の交通事故防止
▼自転車および原動機付き自転車の安全利用の促進

▼安全運転の確保とシートベルト着用の推進

の三項目を重点テーマに、国民総ぐるみで秋の全国交通安全運動が行われます。

交差点では

一時停止を



事故の約三割は、交差点での出合いがしらに起きています。

交差点では、スピードを落とすか、いったん停止して左右をよく確かめてから、渡りましょう。

法定速度を

守ろう



原動機付き自転車は、時速三十キロ以上で走ってはいけません。スピードの出し過ぎは、急ブレーキの原因となり、転倒する危険性が伴います。また、急発進も事故のもとです。

ほかの車から 見えやすいところ を走ろう

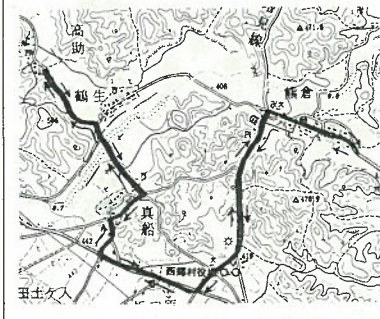
車体が小さいために、大型車の運転席からは「死角」に入りやすいので、注意しましょう。左折時に巻き込まれないためには、大型車と並行して走るときは、十分気をつけたいものです。

高助バス路線

変更のお知らせ

村道、熊倉→高助線鶴生橋架換工事のため、9月10日から次のとおり変更になりましたので、お知らせします。

①白河→熊倉→役場→熊倉
→鶴生→高助
②白河→熊倉→役場→真船
→鶴生→三叉路→高助



点検整備を 忘れずに



車輪、ブレーキ、灯火の三点は、いつも点検整備をお忘れな

く。なお、自賠責保険への加入が義務づけられていますので、未加入の方は、すぐ手続きを。

ヘルメットを

かぶろう



自動二輪車による死亡事故の七二%は、頭部損傷によるものです。ヘルメットはJIS規格のものなど良質のものを選び、あごひもをきちんと結んで正しくかぶりましょう。

次のような光景を目撃されたことはありませんか。

お年寄りが無理な横断をしていて、車が急ブレーキをかけて止まると、老人はステッキを振り上げて運転手に怒鳴っている。極端な例かもしれませんが、老人特有の心理に裏打ちされたお年寄りの独特の「交通作法」の一端をかい間見る思いがします。老人は、子供とともに道路交通上は、弱い立場にあります。交通事故による死者のうち、子供と老人が多いのもそのためです。

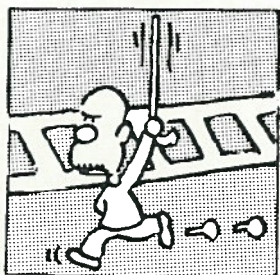
交通ルールと

お年寄りの心理

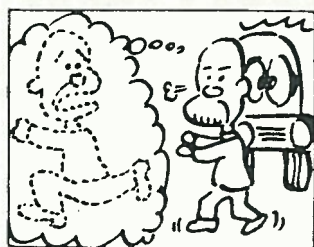
▼変化する交通状況に対応できないケースが目立ちます。

お年寄りは家にいることが多いため、交通ルールをはじめ、交通環境の変化を知る機会が少なく、また、老人の頭の中は、昔の記憶が大半を占め、交通量の多くなった現在の状況を実感としてつかみにくい心理状態にあります。

▼時に、身勝手と思えるような行動をとることがあります。基本的な交通ルールも、断片的にしか知らないことが多く、たとえば「手を上げて道路を渡ろう」という言葉だけ知っていて、横断してはいけないところで実行してしまうようなことがあります。



▼体力や運動機能の衰えにもかかわらず、いつまでも若い気持ちでいることが多い。年をとると、当然、体力を



○ ○ ○
九月十五日(二十一日)は、老人福祉週間です。ドライバーのみなさんは、お年寄りの姿を見かけたときは、くれぐれも注意

目がさめる!?

交通安全協会・母の会

安全運転の啓発運動実施

今年も交通安全協会と交通安全母の会では、八月十日、村内の二カ所、お盆に帰省するドライバーなどを対象に安全運転の啓発運動を実施した。

これは「目のさめる運動」と銘打って、ドライバーに冷水、ガム、ウメボシをサービ



もので、ドライバーからは大変好評を博していた。

我が家の防火(一)

火災ほど恐ろしいものはありません、このような恐ろしい火災を防止するには、あなた自身ふだんの心構えが必要です。

しかし火災は用心という注意だけでは防ぐことはできません。もし万一火災になったときに消火器や消火バケツなど備えるとともに、いざというときにすぐ逃げられるよう、くふうするなど、ふだんから考えておく

ことが必要です。

煙のおそろしさ

火災による死者は、その大部分が煙による「ちっ息」か一酸化炭素中毒です。

これは家庭内にある布団や衣類など多量の有毒ガスや煙を発生させるためです。

煙の恐ろしさを充分知り、早く避難するようにして下さい。

◆煙の性質について◆

① 煙の重さは、空気と同じ位ですが火災で熱せられると

いきおいよく上昇します。

② 煙は上昇するときは毎秒三、五米横へ毎秒〇・五、一米の速さで広がります。

③ 煙は逃げ道がないと天井に一時的にたまり、それから次第に下におりてくる。

④ 煙は見通しを著しく悪くし、恐ろしさを感じさせる。

⑤ 煙は有毒ガス(一酸化炭素など)を含んでおり危険です。

◎ 煙から避難するときの心得◎
できるだけ姿勢を低くすること。

◎ タオル、ハンカチ(ぬらした方がよい)を口にあて煙をすわないようにすること。

◎ 呼吸はなるべく小さく「はな」からして煙を肺いっぱいすい込まないこと。

◎ 頭や、顔を布、その他の物で守って逃げる。

◎ 着物や髪に火がついたら走ってはいけません、地面に寝て体をこすりつけながら消すか、あるいは毛布等でくるむかして消すようにする。

(火の用心 今日でも家族のあいことば)
西郷消防分署予防指導係
5-12534



国民年金の特別納付制度をご存知ですか？

国民年金の特別納付制度が昨年の七月から実施されているのをご存知ですか。国民年金の老齢年金は、①保険料をおさめた期間が二十五年（年齢によって、十年から二十四年に短縮されます）以上あり、②六十五歳になったときにうけられます。

老齢年金の受給要件の一つである年齢は、誕生日ごとにまわがなくなりますが、もう一つの要件である「保険料の納付」は、おさめることを忘れたら、自分だけ年金がうけられないという、いわゆる「無年金者」になってしまいます。このような「無年金者」を救うために実施されているのが「特別納付」の制度です。

(1) 特別納付ができる方 昭和五十二年三月以前の国民年金の当然加入期間のうち、時効によって保険料がおさめられなくなっている滞納期間のある方。

(注) サラリーマンの奥さんなど、任意加入の期間については対象となりません。

(2) おさめる額 過去の滞納期間

一カ月につき四〇〇〇円。一括又は分割でおさめられます。

(3) 特別納付ができる期限 昭和五十五年六月三十日まで。

あなたの年金は大丈夫ですか。国民年金の特別納付にあてはまるときは、すぐに役場にきて、手続きをすませましょう。

くわしくは、役場年金係に問い合せください。

電話 ④2101
⑤512121
内線30・31へ

◇おめでた

◆かなしみ

(7月分届出より)

◇おめでた

氏名 保護者 部落

鈴木美由紀(兼次)長坂
菊池敏広(卓)鶴生
木村久美(信夫)原中
佐藤奈津紀(誠次)上新田

鈴木康悦(謙二)長坂
斎藤明香(威一)又川
月岡修(日出男)黒川
添田忠聖(勝栄)米原
荒木大輔(達夫)芝原
小山暁子(敏夫)長坂
真船貴司(喜雄)米原
小針直樹(一男)上折口
八巻真由美(定雄)芝原
相川美奈子(誠一)原中
徳田奈美子(勝雄)下折口
佐藤雅俊(公春)下羽太
鈴木健一(良雄)追原
若林真理子(康男)上羽太
植木真由美(勝一)上折口
鈴木晶子(智雄)虫笠

◆かなしみ

氏名 年齢 部落

佐藤久 53歳 大島アバト
伊藤義雄 69歳 下羽太
河越勝代 50歳 下折口
増淵幸太郎 82歳 上折口
石田クラ 89歳 上折口
新田

国民健康保険が7月中に支払った医療費等の状況

区分		件数	支払額	支払額の対前月増減
医療費	入院	81	6,704,644	△ 5,442,214
	入院外	2,513	12,929,459	1,568,547
	歯科	313	1,803,200	307,804
	計	2,907	21,437,303	△ 3,565,863
高額療養費		39	581,973	△ 1,302,106
助産費		3	180,000	△ 120,000
葬祭費		3	30,000	△ 10,000
合計		2,952	22,229,276	△ 4,997,969
7月中に納入された国保税			15,046,970	

就業構造基本調査

にご協力を

この調査は、私達の就業状態はどうなっているか、又、現在仕事がなくして仕事を探している人がどの位いるか、などを調べるため実施されます。

調査員がお宅を訪問しますので、ご協力くださるようお願いいたします。

●調査日

昭和五十四年十月一日

●調査対象部落

山下、中羽太、上折口原の一又、芝原牧場、谷地中、米村、下新田由井ヶ原、原中と太平の一部（いずれも抽出世帯の）（み対象となります）



昭和54年10月 就業構造基本調査



みんなの力で結核予防 複十字シール運動中

8/1~12/31まで

複十字シール運動は、結核や肺ガン、その他の呼吸器疾患をなくして、健康で明るい社会を作るための事業資金の募集と、これらの病気についての関心を深めていただく目的で行われ、全国の多くの方々の善意によるご協力を得て、募金額も年々増加し、結核をなくすために大きな成果をあげています。

どうぞ今年も皆様の心からのご支援とご協力をお願いいたします。なお、昭和五十五年度複十字シール図案を募集していますので、ふるって応募下さい。締切などの詳細については役場衛生係まで問い合わせ下さい。

正しい食生活で 成人病の予防を

さる七月二十七日から八月四日まで、村内の各公民館において、成人病予防対策の一環事業として料理実習を行ないました。その内容は季節の材料を使用した夏バテ予防で、バランスのとれた栄養食ということで実施し、大変好評を得ました。

前回は三月に実施しましたが、今後とも各地区で、この様な実習を計画していますので、皆さん多数の参加をお待ちしています。



料理実習風景(熊倉地区)

川柳・俳句

青春の白さを汚してゆく罰金
六郎 罰金制にしてけんかをせぬ夫
由利子 眞夏日へ白バイ違反追つかける
栄子 罰金の重石で秩序保つてる
照子 子育てが終って募集目にとまる
キヨ

募集してしまへば社風という掟
文子 待遇に嘘少し入れ人を釣る
秀石 第一条農はさせぬと嫁募集
房子 涼風を誘うハガキの思いやり
昭子 野良帰る泉にかみ月すくふ
源次郎 禿げ仏陀泉の曰く胸に秘め
一貫子

○ ○ ○

泉に伏す即ち山をおろがみぬ
周平 蝶見失いて葛山ばかりなり
桃晴 山百合の蕾大きく山静か
清二 大岩を背に山百合のひそと咲く
八郎 遊歩道に誘はれてゆく木下闇
和英 地震ありて不審をいだく朝な
草 行く雲を映して泉しずまりぬ
公一

子宮ガン集団検診のお知らせ

対象者.....30歳以上の婦人

月日	受付時間	実施場所
10. 5	7:30~9:00	農民研修センター
10. 6	7:30~9:00	生活改善センター

受診者負担.....500円

検診費用は2,100円かかりますが、個人負担は500円で受けられますので、この機会にぜひ受診されますようお知らせします。

優良書籍

県の青少年健全条例により、次の書籍が青少年の健全な育成を図るうえにおいて有益なものとして推奨されましたのでお知らせします。

書籍名 著者 発行所

坂東先生の教育講座 坂東義教 テレビ朝日

親しみやすい教育論であるから、お母さん方に読んでほしい図書である。

子供の自殺 稲村 博

(東京大学出版会)

推奨の理由は、もう一つ「子どもの自殺」という書物の名称を超えて広く青少年の健全育成の上からも十分教えられるところがあるからである。

教育は死なず 若林繁太

(労働旬報社)

「落ちこぼれ」ではなく、実は「落ちこぼれ」の「のだ」と全校漢字テスト大会をも実施する。そうして「非行生徒のいない高校」と銘打って進む、教育実践のこれは記録である。世の親、学校の教師の方々に薦める教育関係者必読の書である。

税務署だより

◎お年寄りや障害者と税金

国では、お年寄りや心身障害者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな施策を行っています。税金の面でもいろいろな特典を設けています。

〔お年寄りが受けられる特典〕

年齢が六十五歳以上で、所得が一万円以下のお年寄りは、**●** 老年者控除として所得金額から二十万三千円が控除されます。

● 国民年金や厚生年金、恩給などの公的年金を受けている人は、老年者年金特別控除として、それらの収入金額から七十八万円を控除することができます。

また、七十歳以上のお年寄りを扶養している人は、老人扶養

控除として三十五万円（通常は二十九万円）を所得金額から控除できます。

〔心身障害者が受けられる特典〕

所得税では一人当り二十三万円を所得金額から控除できる。障害者控除が、相続税では障害者の税額控除が、また、物品税では身体障害者が自ら運転する小型乗用自動車には物品税がかからない、などの特典があります。

「西白河郡連合青年会

球技大会開催される」

去る八月十二日矢吹町営総合グラウンドにおいて西白河郡連合青年会球技大会が開催されました。我が青年会の参加種目は野球、ソフトボール、バレーボール男女、卓球でした。総合優勝は表郷村青年会でした。我が青年会はバレー

はばたく連青

ール男子が優勝、ソフトボール第三位、総合第五位でした。

「県の若人が集う」

去る八月二十五、二十六日において県体文が会津若松市宮陸上競技場において、参加青年団五十団体が一堂に集合

ふだんあまり顔を合わせない人とスポーツを通して交流できたことについては大変意義を催しました。

皆、一生けん命やった

八月五日、午前七時朝もやのなかを赤面山スキー場より登山を開始しました。すでにスキー場中腹でダウン寸前の人もいた



ようで、これからまだまだ先だと聞いたときは気が遠くなりそうでした。行けども行けどもたどりつかない目的地、途中で巨大な丸太棒の標識をかついで急斜面を登ったときは、相当バテていた人もいたようです。しかしなかには人並みはずれた人もおり、その人達に励まされながら中継点に標識を埋め込める作業をしました。正午過ぎ三本槍岳の頂上に着いた時は全員でパンザイをし、記念撮影をしました。皆、俺達がこの標識を立てたんだと言う満足感でいっぱいだったようです。

お題は『桜』

●昭和55年の歌会始めのお題は「桜」と定められました。

なお、詳細については役場企画開発課広報係まで問い合わせ下さい。

作ってみよう

楽しい

ペーパークラフト

作品募集中

■応募期限 54年10月下旬

■応募部門

「ベテラングループ」…かさ/人形/動物/植物/乗物/建造物/その他

「お楽しみグループ」…かさ/人形/その他(初心者向け)

■地区大会 54年11月

県大会 55年1月

全国大会 55年2月

●詳しくは、たばこ販売店頭のポスターをご覧下さい。

活性汚泥による

有機肥料はいかがですか？

会社では工場の排水処理に伴って発生する活性汚泥が、有機肥料として効果があることに着目して、芝生に施肥したところ青々となり、汚泥を与えなかったところと比べて明らかな相違が認められました。

その後、工場の従業員で研究熱心な人達が、田畑に使用したところ、肥料としての効果が顕著に現われ、収量が大幅に向上したことが認められました。従業員を対象に三

又三菱製紙白河工場総務課(☎218111)担当猪熊まで問い合わせ下さい。
なお費用は4t車一台600円で配達(村内